

東方学院だより

第4号

編集・発行

財団法人東方研究会事務局

東京都千代田区外神田2-17-2

TEL: 03-3251-4081 FAX: 03-3251-4082

http://www.toho.or.jp

平成14年1月1日発行

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

財団法人東方研究会・東方学院の情報を皆様にお伝えするために、「東方学院だより」を復刊することといたしました。年二回の発行を予定しております。今まで、ともすると皆様へのご連絡がおろそかになることもありましたが、今後は、より一層、皆様とのつながりを大切にして参りたいと存じますので、宜しく願ひ申し上げます。
(理事長 中村洛子)

中村元東方学術賞授賞式

十月十日の中村元先生の三回忌にあたり、この日を記念してインド大使館におきましてインド大使館と共催で第十一回中村元東方学術賞授賞式が行われました。これを機に、名称をこれまでの「東方学術賞」から「中村元東方学術賞」に改めました。今回の受賞者は、立川武蔵国立民族学博物館教授と上村勝彦東京大学教授のお二方です。立川教授は、インドをはじめとするアジア諸地域の思想および文化の研究、上村教授は、サンスクリット詩論およびインドの思想と文化の研究についての業績が評価されての受賞となりました。

授賞式は、あいにくの豪雨の中にもかかわらず百名近い数の皆様にご参加頂き、インド大使館講堂において開かれました。中村洛子理事長より日本文の賞状、アフターブーセット・インド大使より英文の賞状、また、春秋社と東京書籍よりご提

供頂いた副賞の書籍が授与されました。その後、ビザ・ホールに会場を移し祝賀会が開かれました。来賓の方々よりお言葉を頂き、盛会裡に祝賀会を終えることができました。



挨拶されるセット駐日インド大使閣下

中村元先生の足跡を訪ねて(松江旅行)

平成十三年十月二十四日(水)から二十六日(金)にかけ、二泊三日の中村元先生のご生誕地島根県松江市とその周辺をめぐる旅行を開催いたしました。中村洛子理事長、前田専學常務理事夫妻をはじめ、総勢十四名の参加者でアット・ホームな旅行となりました。旅行の行程は、まず初日の二十四日は、松江の中村家の菩提寺真光寺にて中村先生の三回忌法要を執り行い、一同で同寺の中村家の墓所に詣でました。その後、宿泊先の宍道湖畔松江温泉のホテルにて、前田常務理事の「中村元先生とラフカディオ・ハーン」と題する講演が行われました。二日目の二十五日は、堀川遊覧ののち、松江城、武家屋敷、小泉八雲記念館と松江市内をめぐり、その後、足立美術館を見学し、この日は玉造温泉に宿泊いたしました。最終日の二十六日は、日御碕を見学し、出雲大社に詣でたのち、

帰路につきました。三日間とも好天に恵まれ、中村先生のご遺徳を偲びつつ、秋色の出雲路を参加者一同堪能いたしました。



真光寺での墓参風景

第二回酬仏恩講・東方研究会合同講演会

酬仏恩講は篤志家の方によって奈良薬師寺内に設立され、東方研究会が行うアジア諸国への派遣留学生事業へのご援助を頂いております。その留学成果の発表のため講演会が開かれることとなり、今回で二回目となりました。

講演会の行われた十二月二日(日)は朝から雲ひとつない好天に恵まれ、風もなく穏やかな日和でした。会場の奈良西の京薬師寺慈恩殿には、遠方からの方も含め、約七十名以上の聴講者が詰めかけなかなかの盛況振りでした。

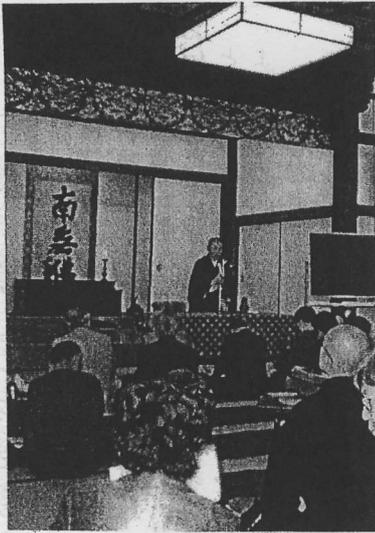
最初に、薬師寺録事松久保伽秀師が開会を宣言され、続いて東方研究会常務理事の前田専學先生からご挨拶がありました。

講演は、最初に東方研究会理事の田辺和子先生が「中村元先生からいただいた学恩」という演題で話されました。中村先生に師事し、学問のみならず、

らず人生そのものをも教わったとされる田辺先生の言葉は説得力に富まれ、聴講者も皆熱心に聴き入っていました。学問に対する厳しさとともに人間に対する優しさを常に失うことがなかった中村先生の偉大さに改めて気付かされた一時間の講演でした。次に、東方研究会派遣留学生の藪内聡子氏から「スリランカ森林寺院をたずねて」と題して、報告の形で講演が行われました。日本人が今までほとんど訪れたことのないスリランカの山奥の森林寺院について、珍しいスライドを映写しながらの説明は大変興味深く、未知の世界に対する好奇心をかき立てられたのは皆同じだったのではないのでしょうか。

最後に、薬師寺管主松久保秀胤先生からご懇篤なお言葉を頂戴して当日の全日程を終了いたしました。

第二回目のこの講演会も和やかな雰囲気のもと成功裡に終えることができました。これもやはり中村元先生のご人徳のなせるところでしょう。



講演会風景

【お知らせ】
○平成十四年度東方学院てびき
平成十四年度の「東方学院てびき」が出来上がりました。

○新講座の開講

平成十四年度からは次の講座が新たに開講されます。
○(東京本校)

石上善忠講師「仏教と仏教美術との関係」。曜日・教室は三月に決定。

石川巖講師「初級チベット語」。月曜日。一八時から一九時半。東方学院四〇二号室。

下川邊季由講師「唯識思想入門」。火曜日。一〇時半から一二時。東方学院四〇二号室。

堀内伸二講師「仏教聖典入門」。木曜日。一八時から一九時半。東方学院四〇二号室。

○(関西地区)
瀧口恭子講師「仏教文学」。月曜日。一五時から一六時半。梅新イーストホテル。

○(名古屋地区)
日野紹運講師「親鸞聖人の言葉に学ぶ」。土曜日。一八時から一九時半。正覚寺。「サンスクリットの言語と文化」。土曜日。一九時半より二二時。正覚寺。

○関西地区の教室変更
平成十四年度より、法華クラブで行われていた講義が、梅新イーストホテル(大阪市北区西天満4-11-5)へ教室が移ります。なお、法華クラブ以外での講義は従来のままの教室です。

○パリ語集中講座の開講(東京本校)
平成十四年度は、名古屋地区でパリ語の講義を担当されている田辺和子講師のパリ語集中講座が東京本校で開講されます。開講日は、夏休み期間中(三回)と冬休み期間中(三回)に分けての全六回です。詳細は東方学院事務局までお問い合わせ下さい。

○新春会

新春会が平成十四年三月二十六日(火)、十六時半より、東京ガーデンパレスで開かれます。

○平成十三年度公開研究会

第一回から第三回までの発表はすでに終了しております。本年度中には、のこり第四回、第五回の発表が行われます。既発表は、第一回「インド文化の深層を探る」。発表者、及川弘美研究員。日時、平成十三年六月二十八日(木)。第二回「チベット文化はいかにして誕生したのであるか」。発表者、石川巖研究員。日時、七月二十六日(木)。第三回「幕末の佛教」。発表者、森和也研究員。十一月二十九日(木)。

今後の発表予定は、第四回「インド仏教内で隆盛した『仏教論理学』入門」。発表者、林慶仁研究員。日時、平成十四年一月三十一日(木)。第五回「白隠禅師の書画による教え」。発表者、堀内伸二研究員。日時、二月二十八日(木)。ともに午後六時から八時まで。会場は、東方学院四〇二号室。参加自由・無料です。

普通会員募集

普通会員になって頂くと、定期刊行物『東方』の他、催し物、会合のご案内をお送りいたします。年会費、五千円。

賛助会員募集

財団法人東方研究会では賛助会員を募っております。皆様のご協力をお願いいたします。賛助会費は一口、一万円です。なお、二万円以上は、税法上の寄付金控除になり、個人の場合は所得税の減免、法人の場合は損金算入の適用が受けられます。詳しくは東方研究会事務局までお問い合わせ下さい。